

## 特別管理加算

### 特別管理加算

2018年4月1日現在

#### 特別管理加算（医療保険）：特掲診療科の施設基準等・別表第八に掲げるもの

##### 【特別管理加算 5,000 円/月】

- ・在宅悪性腫瘍患者指導管理もしくは在宅気管切開患者指導管理を受けている状態にある利用者
- ・気管カニューレもしくは留置カテーテルを使用している状態にある利用者

##### 【特別管理加算 2,500 円/月】

- ・在宅自己腹膜灌流指導管理、在宅血液透析指導管理、在宅酸素療法指導管理、在宅中心静脈栄養法指導管理、在宅成分栄養経管栄養法指導管理、在宅自己導尿指導管理、在宅人工呼吸指導管理、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理、在宅自己疼痛管理指導管理もしくは在宅肺高血圧疾患指導管理を受けている状態にある利用者
- ・人工肛門又もしくは人工膀胱を設置している状態にある者
- ・真皮を越える褥瘡の状態にある者
  - ① NPUAP 分類Ⅲ度又はⅣ度      ② DESIGN (R) 分類-D3、D4、D5
- ・在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している者

※複数のステーションが関わっている場合、すべてのステーションで算定可能

#### 特別管理加算（介護保険）：厚生労働大臣が定める状態

##### 【特別管理加算Ⅰ 500 単位/月】

- ・在宅悪性腫瘍患者指導管理もしくは在宅気管切開患者指導管理を受けている状態
- ・気管カニューレもしくは留置カテーテルを使用している状態

##### 【特別管理加算Ⅱ 250 単位/月】

- ・在宅自己腹膜灌流指導管理、在宅血液透析指導管理、在宅酸素療法指導管理、在宅中心静脈栄養法指導管理、在宅成分栄養経管栄養法指導管理、在宅自己導尿指導管理、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理、在宅自己疼痛管理指導管理又は在宅肺高血圧症患者指導管理を受けている状態
- ・人工肛門又は人工膀胱を設置している状態
- ・真皮を越える褥瘡の状態
  - ① NPUAP 分類Ⅲ度又はⅣ度      ② DESIGN (R) 分類-D3、D4、D5
- ・点滴注射を週3日以上行う必要があると認められる状態

※利用者一人につき1ヶ所の事業所のみが算定できます。2ヶ所以上の事業所から訪問看護を利用する場合には、事業所相互の合議により分配。

## 特定疾病・厚生労働大臣が定める疾病等

### 特定疾病

- ・第2号被保険者（40歳以上65歳未満）が要介護認定の申請をするための要件
- ・「要介護状態の原因である身体上又は精神上的の障害が加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病（16の特定疾病）」に限定
- ・次の病名が介護保険（要介護認定・要支援認定）申請書及び主治医の意見書に記載されていれば、第2号被保険者が要介護認定を受けることができる

①がん【がん末期】、②関節リウマチ、③筋萎縮性側索硬化症、④後縦靱帯骨化症、⑤骨折を伴う骨粗鬆症、⑥初老期における認知症【アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体病等】、⑦進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病【パーキンソン病関連疾患】、⑧脊髄小脳変性症、⑨脊柱管狭窄症、⑩早老症【ウェルナー症候群等】、⑪多系統萎縮症【線条体黒質変性症、シャイ・ドレーガー症候群、オリブ橋小脳萎縮症】、⑫糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症、⑬脳血管疾患【脳出血、脳梗塞等】、⑭閉塞性動脈硬化症、⑮慢性閉塞性肺疾患【肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息、びまん性汎細気管支炎】、⑯両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

### 厚生労働大臣が定める疾病等

- ・訪問看護の回数制限が除外され、医療保険優先の対象者
- ・訪問看護指示書に下記の疾病や状態が記載されている必要がある

末期の悪性腫瘍、多発性硬化症、重症筋無力症、スモン、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、ハンチントン病、進行性筋ジストロフィー症、パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る）、多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）、プリオン病、亜急性硬化性全脳炎、ライソゾーム病、副腎白質ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、後天性免疫不全症候群、頸髄損傷及び人工呼吸器を使用している状態

## 指定難病医療費助成制度

- ・医療費助成の対象疾患（指定難病）は、2019年7月現在：333疾患
- ・この難病法に基づく医療費（特定医療費）助成制度により、自己負担割合が3割から2割になる
- ＊訪問看護ステーションは、都道府県知事に対して申請を行い指定医療機関となる必要がある  
（指定は、6年ごとの更新）
- ・利用者が支払う自己負担は、自己負担限度額管理表を用いて管理する
- ・入院、入院外の区別を設定せず、また、複数の指定医療機関で支払われた自己負担すべてを合算したうえで、自己負担上限額を適用することになる。

### 医療費助成対象疾病（指定難病）一覧（333疾病）

病名	番号	病名	番号
<b>あ</b>		ウルリッヒ病	29
アイカルディ症候群	135	<b>え</b>	
アイザックス症候群	119	HTLV-1 関連脊髄症	26
IgA 腎症	66	ATR-X 症候群	180
IgG4 関連疾患	300	エーラス・ダンロス症候群	168
<b>亜急性硬化性全脳炎</b>	<b>24</b>	エプスタイン症候群	287
悪性関節リウマチ	46	エプスタイン病	217
アジソン病	83	エマヌエル症候群	204
アッシャー症候群	303	遠位型ミオパチー	30
アトピー性脊髄炎	116	<b>お</b>	
アペール症候群	182	黄色靱帯骨化症	68
アラジール症候群	297	黄斑ジストロフィー	301
$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	231	大田原症候群	146
アルポート症候群	218	オクシピタル・ホーン症候群	170
アレキサンダー病	131	オスラー病	227
アンジェルマン症候群	201	<b>か</b>	
アントレー・ビクスラー症候群	184	カーニー複合	232
<b>い</b>		海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	141
イソ吉草酸血症	247	潰瘍性大腸炎	97
一次性ネフローゼ症候群	222	下垂体性 ADH 分泌異常症	72
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	223	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	76
1p36 欠失症候群	197	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	77
遺伝性自己炎症疾患	325	下垂体性 TSH 分泌亢進症	73
遺伝性シストニア	120	下垂体性 PRL 分泌亢進症	74
遺伝性周期性四肢麻痺	115	下垂体前葉機能低下症	78
遺伝性腓炎	298	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	79
遺伝性鉄芽球性貧血	286	家族性地中海熱	266
<b>う</b>		家族性良性慢性天疱瘡	161
ウィーバー症候群	175	カナバン病	307
ウィリアムズ症候群	179	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	269
ウィルソン病	171	歌舞伎症候群	187
ウエスト症候群	145	ガラクトース-1-リン酸ウルリシルトランスフェラーゼ欠損症	258
ウェルナー症候群	191	カルニチン回路異常症	316
ウォルフラム症候群	233	肝型糖原病	257

医療費助成対象疾病（指定難病）一覧（333 疾病）

間質性膀胱炎（ハンナ型）	226	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	45
環状 20 番染色体症候群	150	好酸球性副鼻腔炎	306
完全大血管転位症	209	抗糸球体基底膜腎炎	221
眼皮膚白皮症	164	◎後縦靱帯骨化症	69
き		甲状腺ホルモン不応症	80
偽性副甲状腺機能低下症	236	拘束型心筋症	59
ギャロウェイ・モフト症候群	219	高チロシン血症 1 型	241
球脊髄性筋萎縮症	1	高チロシン血症 2 型	242
急速進行性糸球体腎炎	220	高チロシン血症 3 型	243
強直性脊椎炎	271	後天性赤芽球癆	283
巨細胞性動脈炎	41	広範◎脊柱管狭窄症	70
巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	279	コケイン症候群	192
巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	280	コステロ症候群	104
巨大膀胱短小結腸管蠕動不全症	100	骨形成不全症	274
巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	278	5p 欠失症候群	199
◎筋萎縮性側索硬化症	2	コフィン・シリス症候群	185
筋型糖原病	256	コフィン・ローリー症候群	176
筋ジストロフィー	113	混合性結合組織病	52
く		さ	
クッシング病	75	鰓耳（さいじ）腎症候群	190
クリオピリン関連周期熱症候群	106	再生不良性貧血	60
クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	281	再発性多発軟骨炎	55
クルーゾン症候群	181	左心低形成症候群	211
グルコーストランスポーター 1 欠損症	248	左肺動脈右肺動脈起始症	314
グルタル酸血症 1 型	249	サルコイドーシス	84
グルタル酸血症 2 型	250	三尖弁閉鎖症	212
クロウ・深瀬症候群	16	三頭酵素欠損症	317
クローン病	96	し	
クロンカイト・カナダ症候群	289	CFC 症候群	103
け		シェーグレン症候群	53
痙攣重積型（二相性）急性脳症	129	色素性乾皮症	159
結節性硬化症	158	自己貪食空胞性ミオパチー	32
結節性多発動脈炎	42	自己免疫性肝炎	95
血栓性血小板減少性紫斑病	64	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	288
限局性皮膚異形成	137	自己免疫性溶結性貧血	61
原発性高カイロミクロン血症	262	シトステロール血症	260
原発性硬化性胆管炎	94	シトリン欠損症	318
原発性抗リン脂質抗体症候群	48	紫斑病性腎炎	224
原発性側索硬化症	4	脂肪萎縮症	265
原発性胆汁性胆管炎	93	若年性特発性関節炎	107
原発性免疫不全症候群	65	若年発症型両側性感音難聴	304
顕微鏡的多発血管炎	43	シャルコー・マリー・トゥース病	10
こ		重症筋無力症	11
高 IgD 症候群	267	修正大血管転位症	208
好酸球性消化管疾患	98	シュベール症候群関連疾患	177

医療費助成対象疾病（指定難病）一覧（333 疾病）

シュワルツ・ヤンペル症候群	33	先天性副腎皮質酵素欠損症	81
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	154	先天性ミオパチー	111
神経細胞移動異常症	138	先天性無痛無汗症	130
神経側索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	125	先天性葉酸吸収不全	253
神経線維腫症	34	前頭側頭葉変性症	127
神経フェリチン症	121	そ	
神経有棘赤血球症	9	早期ミオクロニー脳症	147
◎進行性核上性麻痺	5	総動脈幹遺残症	207
進行性骨化性繊維異形成症	272	総排泄腔遺残	293
進行性多巣性白質脳症	25	総排泄腔外反症	292
進行性白質脳症	308	ソトス症候群	194
進行性ミオクローヌステんかん	309	た	
心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	214	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	200
心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	213	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	284
す		◎大脳皮質基底核変性症	7
スタージ・ウェーバー症候群	157	大理石骨病	326
スティーヴンス・ジョンソン症候群	38	高安動脈炎	40
スミス・マギニス症候群	202	◎多系統萎縮症	17
せ		タナトフォリック骨異形成症	275
脆弱 X 症候群	206	多発血管炎性肉芽腫症	44
脆弱 X 症候群関連疾患	205	多発性硬化症/視神経脊髄炎	13
成人スチル病	54	多発性嚢胞腎	67
脊髄空洞症	117	多脾症候群	188
◎脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く）	18	タンジール病	261
脊髄髄膜瘤	118	単心室症	210
脊髄性筋萎縮症	3	弾性繊維性仮性黄色腫	166
セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	319	胆道閉鎖症	296
前眼部形成異常	328	ち	
全身性アミロイドーシス	28	遅発性内リンパ水腫	305
全身性エリテマトーデス	49	チャージ症候群	105
全身性強皮症	51	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	134
先天異常症候群	310	中毒性表皮壊死症	39
先天性横隔膜ヘルニア	294	腸管神経節細胞僅少症	101
先天性核上性球麻痺	132	て	
先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	330	TNF 受容体関連周期性症候群	108
先天性魚鱗癬	160	低ホスファターゼ症	172
先天性筋無力症候群	12	天疱瘡	35
先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	320	と	
先天性三尖弁狭窄症	311	禿頭（とくとう）と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	123
先天性腎性尿崩症	225	特発性拡張型心筋症	57
先天性赤血球形成異常性貧血	282	特発性間質性肺炎	85
先天性僧帽弁狭窄症	312	特発性基底核石灰化症	27
先天性大脳白質形成不全症	139	特発性血小板減少性紫斑病	63
先天性肺静脈狭窄症	313	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る）	327
先天性副腎低形成症	82	特発性後天性全身性無汗症	163

医療費助成対象疾病（指定難病）一覧（333 疾病）

特発性大腿骨頭壊死症	71	ヒルシュスブルング病（全結腸型又は小腸型）	291
特発性多中心性キャスルマン病	331	ひ	
特発性門脈圧亢進症	92	ファイファー症候群	183
ドラベ症候群	140	VATER 症候群	173
な		ファロー四徴症	215
中條・西原症候群	268	ファンコニ貧血	285
那須・ハコラ病	174	封入体筋炎	15
軟骨無形成症	276	フェニルケトン尿症	240
難治頻回部分発作重積型急性脳炎	153	複合カルボキシラーゼ欠損症	255
に		副甲状腺機能低下症	235
22q11.2 欠失症候群	203	副腎白質ジストロフィー	20
乳幼児肝巨大血管腫	295	副腎皮質刺激ホルモン不応症	237
尿素サイクル異常症	251	ブラウ症候群	110
ぬ		プラダー・ウィリ症候群	193
ヌーナン症候群	195	プリオン病	23
ね		プロピオン酸血症	245
ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX1B 関連腎症	315	へ	
の		閉塞性細気管支炎	228
脳腱黄色腫症	263	β-ケトチオラーゼ欠損症	322
脳表ヘモジデリン沈着症	122	ベーチェット病	56
膿疱性乾癬（汎発型）	37	バスレムミオパチー	31
嚢胞性繊維症	299	ペリー症候群	126
は		ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く）	234
◎パーキンソン病	6	片側巨脳症	136
バージャー病	47	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	149
肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	87	ほ	
肺動脈性肺高血圧症	86	芳香族 L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	323
肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	229	発作性夜間ヘモグロビン尿症	62
肺胞低換気症候群	230	ポルフィリン症	254
バッド・キアリ症候群	91	ま	
ハンチントン病	8	マリネスコ・シェーグレン症候群	112
ひ		マルファン症候群	167
PCDH19 関連症候群	152	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14
非ケトーシス型高グリシン血症	321	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	88
肥厚性皮膚骨膜症	165	慢性再発性多発性骨髄炎	270
非ジストロフィー性ミオトニー症候群	114	慢性特発性偽性腸閉塞症	99
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	124	み	
肥大型心筋症	58	ミオクロニー欠神てんかん	142
ビタミン D 依存性くる病/骨軟化症	239	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	143
ビタミン D 抵抗性くる病/骨軟化症	238	ミトコンドリア病	21
ビッカースタッフ脳幹脳炎	128	む	
非典型溶血性尿毒症症候群	109	無虹彩症	329
非特異性多発性小腸潰瘍症	290	無脾症候群	189
皮膚筋炎/多発性筋炎	50	無βリポタンパク血症	264
表皮水疱症	36		

医療費助成対象疾病（指定難病）一覧（333 疾病）

め		ラスムッセン脳炎	151
メープルシロップ尿症	244	ランドウ・クレフナー症候群	155
メチルグルタコン酸尿症	324	り	
メチルマロン酸血症	246	リジン尿性蛋白不耐症	252
メビウス症候群	133	両大血管右室起始症	216
メンケス病	169	リンパ管腫症/ゴーハム病	277
も		リンパ脈管筋腫症	89
網膜色素変性症	90	る	
もやもや病	22	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む）	162
モワット・ウィルソン症候群	178	ルビンシュタイン・ティビ症候群	102
や		れ	
ヤング・シンプソン症候群	196	レーベル遺伝性視神経症	302
ゆ		レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	259
遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	148	レット症候群	156
よ		レノックス・ガストー症候群	144
4p欠失症候群	198	ろ	
ら		ロスムンド・トムソン症候群	186
ライソゾーム病	19	肋骨異常を伴う先天性側弯症	273

2019年7月1日追加

膠様滴状角膜ジストロフィー（332）、ハッチンソン・ギルフォード症候群（333）

\* 太字は、医療保険の訪問看護となり回数制限がない

○パーキンソン病は、ホーエン・ヤールの重症度分類が3以上であって、生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度の者に限る

○筋ジストロフィー症は、進行性筋ジストロフィー症に限る

\* ◎は、介護保険第2号被保険者（8疾病）